

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町内巡回バス運行事業			基本目標	公共交通の充実			
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	宮本 渉	評価者	森 弘道	開始年度	H13 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	交通弱者(主に高齢者)									
	意図・目的	移動手段確保とともに温泉利用者の増加に資する。									
事業の内容	町内各地域と高鍋温泉めいりんの湯を結ぶコミュニティバスを運行する。平日(火曜日から金曜日まで)に、1日2路線を運行(全4路線)。										
23年度決算額		2,917	千円	24年度予算額		2,926	千円	事業従事者数	H23 0.16 人	H24 0.20 人	
主な支出項目	委託料	1,219	千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	1,142 千円		
	バス借上料	900	千円		県支出金		千円	24年度人件費	1,429 千円		
	手数料	798	千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)		71.3	%
			千円		一般財源	2,086	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください			
			千円		運賃収入	840	千円				
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-					
	補助交付団体			-		補助金要綱		-			
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	- 年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
		補助の割合	-	%							
繰越額		-	千円								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 利用者数	交通の利便性向上及び高鍋温泉の町内容の確保を目指し、利用者数は平成22年度より増加したが目標を下回った。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 運行回数	高鍋温泉めいりんの湯の営業に合わせて、運行日を決定し運行した。	
	2		
	3		

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	12,000	12,000
成果指標	利用者数	実績値	7,612	9,886	
		達成率	63.4%	82.4%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	運行回数	目標値	-	-	416
		実績値	-	412	
		達成率			
		目標値			
		実績値			
		達成率			

事務事業名	町内巡回バス運行事業	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	町内の交通弱者(特に高齢者)が温泉を利用するために必要な事業であり、廃止による影響は大きい。利用者のほぼ全員が温泉利用者であり、コミュニティバスとは言い難い状況はある。路線の認可を受けていた委託業者の破産申請により、平成23年3月から10月までは無料により運行。11月から宮交タクシー(株)に運行委託し運行。国庫補助事業を活用し平成24年度中に全面的な見直しを予定。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	巡回バス利用者は、事業開始以来平均して年10,000人程度で推移しており、年々増加傾向であったが、平成22年度は口蹄疫まん延防止を目的とした運休等の影響により利用者数が激減し、平成23年度も1万弱と利用者数は回復していない。温泉利用者には有益な事業ではあるが、今後は、他の公共施設・医療機関など地域住民の交通の利便性向上を目的に、路線の見直しを行う予定。	◎目標に対して成果は得られているか	1
		◎すでに目的は達成されていないか	2
効率性	平成19年度に運行路線を5路線から4路線に減少し経費節減を図った。平成24年度中に路線の見直しを行い、国の補助事業の活用を検討する。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	1
協働性	制度的には、NPO等による福祉有償運送も可能ではあるが、安全性の面から原則一般乗合旅客運送事業者(宮交タクシー(株)は免許あり)に委託させるべきである。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			14

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)	◎公益性が高いか	-
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	-
	◎町民の理解が得られる事業であるか	-
合計(最高4点)		-
その他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	担当者の方針に対する評価者としての所見	現在の町内巡回バスは本年度中に路線認可を取得する必要がある。従来のコース見直しと併せて町内主要施設や交通手段を持たない高齢者の多い町営住宅などを如何に巡回させるか地域公共交通会議の中で検討していく。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充	維持	縮小	廃止
◎担当者の方針に対する評価者としての所見	◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等		事業の方向性			○	
			コスト	廃止	縮小	維持	拡充

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議で検討中であり、将来にわたる実施計画を本年度中に定めることので、その結果を待ちたい。 ・温泉利用者や交通手段を持たない高齢者の足を確保するため、検討が必要である。 	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	答申書参照